

令和4年

9

月定例会

第297回

ハイライト

令和4年9月定例会は、9月1日に招集され28日までの28日間の会期で開催しました。定例会の初日には18議案が上程されました。

9日には議案に対する質疑を各会派の代表7名が行いました。なお、議案第45号加西市人権尊重のまちづくり条例の制定について、及び議案第49号STEAMラボ機器等整備業務契約の締結についての2議案は、4名の議員から通告があり集中審議を行いました。続いて、12日までの2日間にわたり、12名の議員が市政全般にわたっての一般質問を行いました。

14日からは常任委員会が開かれ、付託された議案の審議を行いました。

最終日には一般会計補正予算案1件が追加上程され、合計19議案を原案どおり可決又は認定し、閉会しました。

審議の様子は、インターネット中継や会議録検索システム（11月下旬掲載予定）にてご覧いただくことができます。

1 令和3年度決算案件9議案を審査・認定

9月定例会では、令和3年度決算案件（一般会計、特別会計、企業会計）9件が提案されました。一般会計は、予算決算常任委員会（全体会・総務分科会・建設経済厚生分科会）、特別会計と企業会計は総務常任委員会及び建設経済厚生常任委員会において、4日間で16時間にわたり慎重審議を行い、原案のとおり認定しました。

一般会計の決算額は、歳入290億799万3,730円、歳出279億5,855万2,720円、翌年度への繰越し7,979万4,000円を差し引いた実質収支額は9億6,964万7,010円の黒字となっています。

また、令和3年度の実質収支額から令和2年度の実質収支額6億8,231万1,092円を差し引いた単年度収支額は、2億8,733万5,918円の黒字となっています。

2 「加西市人権尊重のまちづくり条例」を可決

加西市は、令和3年4月に「加西市感染症の影響を受ける市民等の人権擁護に関する条例」を制定し、感染症などを起因とする差別や偏見の解消に取り組んでいます。

しかし、複雑で多様化した人権に関する問題が今もなお存在し、その解決に向けた積極的な取組が強く求められていることから、市民一人一人が様々な人権問題について正しく理解した上で、差別を許さない、差別を解消していこうという人権尊重の精神を育むことにより、全ての市民が安心して暮らすことができる地域社会を実現するためとして、条例が提案されました。

本会議での質疑や総務常任委員会の審議では、条例制定の経緯や差別の現状、人権施策などについて多くの意見が述べられました。採決の結果、賛成10、反対4の賛成多数で可決しました。

条例案など
審議資料は
こちら



条例案 QRコード